

2MEライブスイッチャー AV-HS6000

クロマキーアクティベーションツール

操作説明書

■ 概要

本書では、クロマキーアクティベーションツールを使って、2MEライブスイッチャー AV-HS6000にクロマキー機能を増設する手順を説明します。

NOTE :

- AV-HS6000のファームウェアバージョンが“3.00-00-0.00”以上の場合、メニューパネルの操作によりクロマキー機能を増設することができます。詳しくは、「AV-HS6000シリーズ 取扱いガイド」を参照してください。
- メニューパネルの操作によりクロマキー機能を増設するときは、クロマキーアクティベーションツールを使わないで下さい。

■ クロマキーアクティベーションツールの動作環境

クロマキーアクティベーションツールが正しく動作するには、下記の性能を備えたパーソナルコンピューターが必要です。

対応 OS : Windows 7、32 bit版

■ クロマキーソフトウェア (AV-SFU60G) について

- クロマキー機能を増設するには、クロマキーソフトウェア AV-SFU60G (有償) が必要です。
- 一つのクロマキーソフトウェアで、アクティベーションコードを一つ取得でき、メインフレーム 1 台に対して、1ch/ME (2ch/2ME) のクロマキー機能を増設することができます。
- メインフレーム 1 台につき、最大 3 つのクロマキーソフトウェアを導入することができます。
システムに応じて、必要な数をご購入ください。
- クロマキーソフトウェア AV-SFU60G に同梱されたキーコードは、アクティベーションを行ったメインフレーム (AV-HS60U1/AV-HS60U2) のシリアル番号とともに大切に保管してください。

■ 本書について

- ライブスイッチャー AV-HS6000は、
 - ・メインフレーム (AV-HS60U1/AV-HS60U2)
 - ・コントロールパネル (AV-HS60C1/AV-HS60C2)
 - ・メニューパネル (AV-HS60C3)から構成されます。
本書では、それぞれ「メインフレーム」、「コントロールパネル」、「メニューパネル」と記載しています。
- 本書では、メニューパネルによるメニュー操作を記載していますが、汎用 DVI モニターとマウスからも同様のメニュー操作を行うことができます。
⇒ 取扱いガイド「第 4 章 準備 — メニューの基本操作」参照

■ クロマキーチャンネル数の増設手順

AV-HS6000にクロマキー機能を増設する場合は、下記の手順で行ってください。

1. ファームウェアバージョンを確認する



2. パーソナルコンピューターを接続する



3. 機器情報をエクスポートする



4. アクティベーションコードを取得する



5. アクティベーションコードをインポートする



6. アクティベーションの確認

アクティベーションコードの取得には、メモリーカードが必要です。

- メモリーカードには、200 MB 以上の空き容量が必要です。

1. ファームウェアバージョンを確認する

AV-HS6000のファームウェアバージョンを確認します。

1 メニューパネルの左側にある <SYS> ボタンを押して点灯させ、メニュー画面の [MAINTENANCE] → [Status] タブを選択する

- [System Version] コラムの [System Version] 項目に、システム全体のバージョンが表示されます。

NOTE :

AV-HS6000のファームウェアバージョンが“1.30-00-0.00”未滿の場合、クロマキーのチャンネル数を増設するには、ファームウェアのバージョンアップが必要です。

ファームウェアに関する最新情報は、下記Webサイトのサポートページを参照してください。

日本語 : <http://panasonic.biz/sav>

英語 : <http://pro-av.panasonic.net/en>

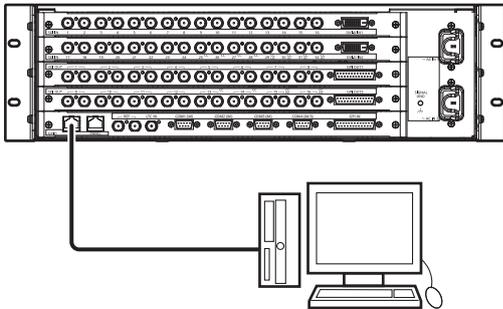
2. パersonalコンピュータを接続する

メインフレームとパーソナルコンピュータを接続します。

1 メインフレームの電源を切る

2 メインフレームのLAN端子(背面端子部)とパーソナルコンピュータをLANケーブルで接続する

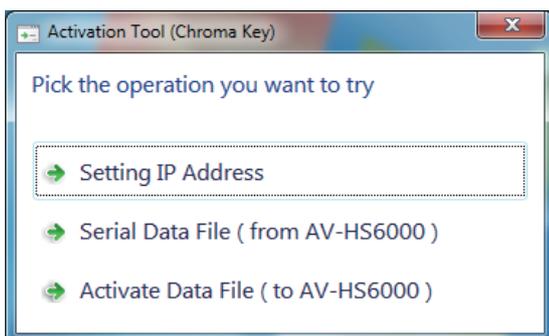
- LANケーブルは、ストレートケーブルとクロスケーブルのどちらでも接続できます。



3 メインフレームの電源を入れる

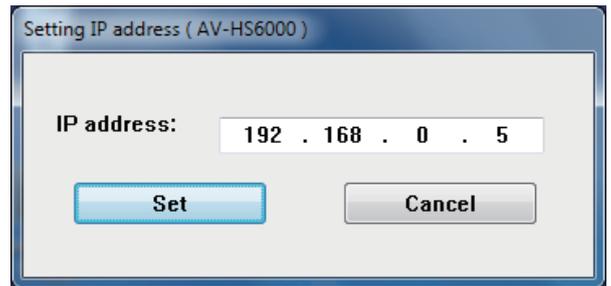
4 クロマキーアクティベーションツール [License.exe] をダブルクリックする

- Activation Tool (Chroma Key) 画面が表示されません。



5 「Setting IP Address」を選択する

- Setting IP address (AV-HS6000) 画面が表示されます。



6 接続したメインフレームのIPアドレスを設定し、[Set] ボタンを押す

NOTE :

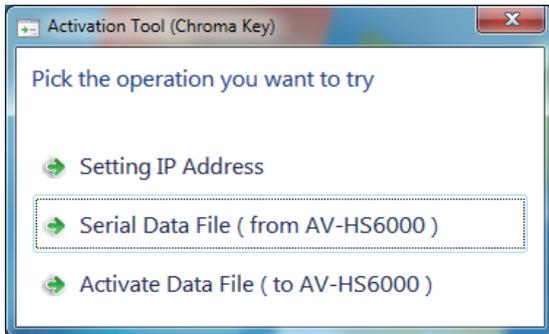
- 工場出荷時のメインフレームは、IPアドレスが「192.168.0.5」に設定されています。メインフレームのネットワーク設定を工場出荷時の状態から変更していない場合は、クロマキーアクティベーションツールのIPアドレスを設定する必要がありません。
- パersonalコンピュータのIPアドレスは、プライベートアドレスの範囲内で、メインフレームと異なるアドレスに設定してください。

例えば、メインフレームのIPアドレスが「192.168.0.5」の場合、パーソナルコンピュータのIPアドレスを「192.168.0.3」、サブネットマスクを「255.255.255.0」などに設定してください。

3. 機器情報をエクスポートする

機器情報をメインフレームからエクスポートします。

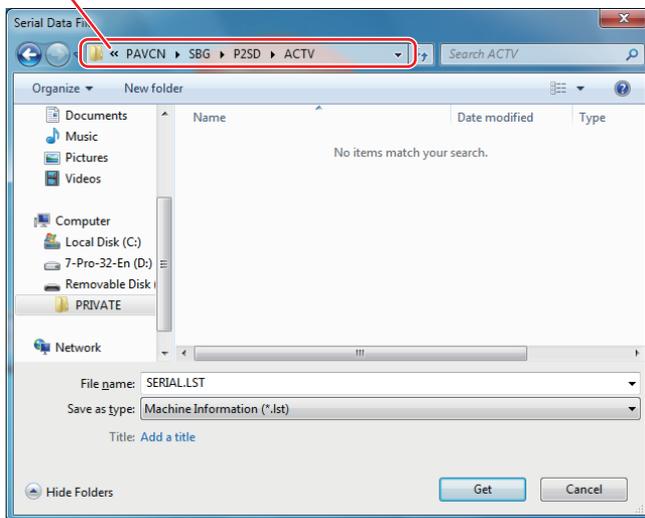
- 1 メモリーカードをパーソナルコンピューターに挿入する
- 2 メモリーカード内に下記のフォルダーを作成する
 - PRIVATE\MEIGROUP\PAVCN\SBG\P2SD\ACTV\
- 3 Activation Tool (Chroma Key) 画面の「Serial Data File (from AV-HS6000)」を選択する



- Serial Data File 画面が表示されます。

- 4 保存先をメモリーカード内に作った「ACTV」フォルダーを指定してファイル名を「SERIAL.LST」とし、[Get] ボタンを押す
 - メモリーカードに機器情報ファイルが保存されます。

メモリーカード内の「PRIVATE\MEIGROUP\PAVCN\SBG\P2SD\ACTV」フォルダーを指定する。



4. アクティベーションコードを取得する

アクティベーションコードの発行サイトに接続してアクティベーションコードを取得します。

- 1 機器情報ファイルを保存したメモリーカードを、インターネットに接続したパーソナルコンピューターに挿入する
- 2 パーソナルコンピューターのブラウザを使って下記のアクティベーションコードの発行サイトに接続し、表示される手順に従ってアクティベーションコードを取得する

日本語 : http://panasonic.biz/sav/actkey_j
英語 : http://panasonic.biz/sav/actkey_e

- メモリーカード内の PRIVATE\MEIGROUP\PAVCN\SBG\P2SD\ACTV\ にアクティベーションコード「ACTIVE.LST」が保存されます。

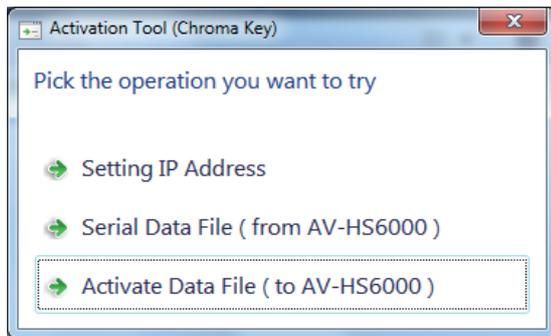
NOTE :

- アクティベーションコードの取得には、クロマキーソフトウェア (AV-SFU60G) に同梱されているキーコードが必要になります。
- メモリーカード内の、PRIVATE\MEIGROUP\PAVCN\SBG\P2SD\ACTV\ フォルダーの中に、「ACTIVE.LST」ファイルがすでに保存されている場合、ブラウザによってはファイル名が自動的に変更される場合があります。上記フォルダーに、「ACTIVE.LST」ファイルが無いことを確認してから保存してください。

5. アクティベーションコードをインポートする

メインフレームにアクティベーションコードをインポートします。

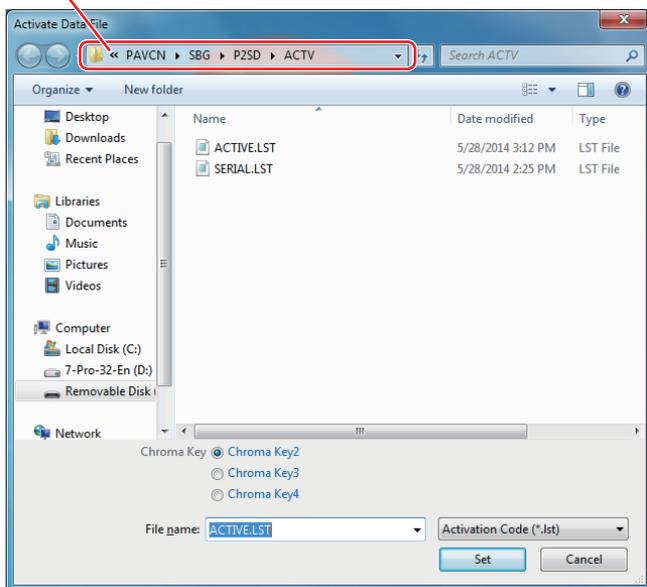
- 1 アクティベーションコードを保存したメモリーカードを、メインフレームに接続したパーソナルコンピュータに挿入する
- 2 Activation Tool (Chroma Key) 画面の「Activate Data File (to AV-HS6000)」を選択する



- Activate Data File 画面が表示されます。

- 3 アクティベーションコードを保存したフォルダーを開く

メモリーカード内の「PRIVATE\MEIGROUP\PAVCN\SBG\P2SD\ACTV」フォルダーを指定する。



- 4 インポート先とするチャンネル（クロマキー機能を有効にするキーのチャンネル）を「Chroma Key2」～「Chroma Key4」から選んでチェックを付ける
- 5 アクティベーションコード「ACTIVE.LST」を選択し、[Set] ボタンを押す

- 複数のキーヤーにクロマキー機能を追加する場合は、「4. アクティベーションコードを取得する」と「5. アクティベーションコードをインポートする」の操作を繰り返し行ってください。

NOTE :

クロマキー機能がすでに追加されているメインフレームにアクティベーションコードをインポートする際は、以下の点に留意してください。

- すでにクロマキー機能が追加されているチャンネルに新たなアクティベーションコードをインポートすると、もともとインポートされていたアクティベーションコードは、メインフレームから削除されます。
- すでにインポートされているアクティベーションコードを異なるチャンネルにインポートすると、もともとインポートされていたチャンネルのクロマキーは無効になり、新たにインポートされたチャンネルでクロマキーが有効になります。

6. アクティベーションの確認

- 1 メインフレームとコントロールパネルの電源を切る
- 2 メインフレームの LAN 端子（背面端子部）に接続した LAN ケーブルを抜く
- 3 メインフレームとコントロールパネルの電源を入れる
- 4 メニューパネルの左側にある <ME1> ボタンを押して点灯させる
- 5 KEY2 ~ KEY4 のファンクションメニューを開き、クロマキー機能が有効になっていることを確認する
クロマキーを有効にしたチャンネルでは、以下のメニュー設定が可能になります。
 - [Key Setting] タブ → [Key] コラム → [Type] を選択すると、“Chroma” を選択することができます。
 - [Chroma] タブを選択することができます。

以上で、クロマキー機能の増設作業は完了です。